

船舶事故調査報告書

平成21年8月6日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 長 後 藤 昇 弘

委員 楠 木 行 雄

委員 横 山 鐵 男（部会長）

委員 山 本 哲 也

委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年4月3日朝、本船は出港し、船長が、漁場で投錨してから13時30分ごろまでの間に、落水したものと考えられる。）
発生場所	不明（本船が発見された場所は、北海道厚岸町厚岸港南防波堤灯台から真方位074° 3,300m付近であった。）
事故調査の経過	平成21年4月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{しんよう} 伸洋丸、1.31トン HK3-085966（漁船登録番号）、個人所有 6.05m×1.54m×0.64m、FRP ガソリン機関（船外機）、漁船法馬力数30、昭和55年5月19日
乗組員等に関する情報	船長 男性 80歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成8年3月29日 免許証交付日 平成17年4月14日 (平成23年3月28日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成21年4月3日08時30分ごろ、船長1人が乗り組み、あさり漁の目的で、北海道厚岸町厚岸港を出港し厚岸湖内の漁場に向かった。13時30分ごろ、厚岸港南防波堤灯台から真方位074° 3,300m付近で、無人のまま錨泊している本船を、僚船船長が視認したが、船長は他船にらせてもらって漁をしているものと考えた。15時28分ごろ、その僚船船長が帰港する際、本船が依然として無人のままであったのを見て、付近で操業している他の僚船に知らせ、関係者が捜索を開始した。捜索の結果、同日17時30分ごろ本船発見場所の南方約100mの海底で、救命胴衣を着用していない船長の遺体が発見され、溺死と検案された。 本船発見時、船内には、救命胴衣、胴長及び漁獲したあさりが残されていた。
気象・海象	気象：天気 晴れ、無風、気温 7.3℃ 海象：海面 平穏、水温 不明

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 なし 不明 船長が死亡したのは、船長が、救命胴衣を着用せずに落水したことによる可能性があると考えられるが、船長が落水した状況については、明らかにすることができなかった。死因は溺水によるものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、北海道厚岸町厚岸湖内の漁場付近において錨泊中、船長が救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。	